

# だっこするよ

平成30年1月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



## こどもたちの安全基地へ 愛情で包む時間

明けましておめでとうございます。2018年のスタートです。新年が皆様にとりまして素晴らしい一年でありますように心よりお祈り申し上げます。今年度も残り3ヶ月となり、大きな事故や怪我、感染症の流行も無く過ごすことが出来たのも皆様方のご理解とご協力のお蔭です。職員一同心より厚くお礼申し上げます。尚、3月末までは、感染症の時期ですので、嘔吐や下痢について症状がある場合は、必ず担任までご連絡いただきますよう、また園で嘔吐や下痢の場合は、症状に応じてお迎えをお願いしております。引き続き、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年も地域や保護者の皆様との信頼のもとに、大人（社会）の愛情の輪の中でこどもたちが大切にされていると感じられる保育を行って参ります。「一人ひとりのこどもを大切に こどものための保育園へ」の理念通りに、こどもたちの安全基地になることです。

私たちは哺乳類として生まれ、愛情で包まれる経験は、絶対信頼感を育み、この先の長い人生でどんな逆境に出会っても、希望を忘れず仲間と話し合い解決していくことでしよう。そして、より良い環境の中で育てたいと思います。美しさや整理整頓された保育室など、毎日、こどもの脳（目）に映る園の環境（物・者）は、主体性や意欲を引き出し、感性を育てているのでしょうか。

倉橋惣三氏の「育ての心」の本からの引用です。改めて倉橋氏の言葉は深く、感動します。

「いきいきしさ」……こどもの友になるのに 一番必要なのはいきいきしさである。必要というよりも、いきいきしさをなくしてこどもの傍にあるのは罪悪である。こどもの最も求めている生命を与えず、こどもの生命そのものを鈍らせずにおかないからだ。あなたの目、あなたの声、あなたの動作、それが常にいきいきしているものでなければならない。どんな美しい感情、正しい思想、強い性格でも、いきいきさを欠いては、こどもの傍に何の意義をも有しない。鈍いものは死滅に近いものである。一刻一刻にこどもの心を蝕（むしば）み害わずにいない。いきいきさの抜けた鈍い心、こどもの傍では、このくらい存在の余地を許されないものはない。」 生き生きとした姿で暮らす・・・今年の誓いにしたいと思います。

こどもに手渡したいものは、自分も友だちも大好きな気持ち、自他肯定感「失敗も大丈夫！！やってみよう」と自分を信じて生きる力です。そして、2月の生活発表会は、こどもたちの生活の場である園ホールを会場といたしました。歳児ごとの発表となります。寒い時期、体育館への移動や慣れ無い場所での練習などストレスをかけたくないと考えました。4月からの生活の中で遊んできたこと、友だちとの関わりやクラスのみinnで目標に向かって頑張る姿、そのプロセスを是非見て頂きたいと思います。行事はこどもたちの大きな節目です。この節目をみんなで越えて、進級へ、年長児は卒園へと向かうのです。私は、悔いの無いように心の準備をして、沢山遊びたいと思います。写真は、ばんだ組 暮れの大掃除の様子です。「ぼくにまかせて ゴシゴシ シュッシュュッ」です。



あけまして

おめでとうございます。

ことしもげんきもりもりであそぶよ。

たくさん あそび、けんかして、

たくさん かんがえて

たくさん けんかして

たくさん なかなかおもしろい

そして、たくさんわらって、

うれしいことがたくさんありますように。

